

2009年4月20日

各 位

オリックス野球クラブ株式会社
オリックス環境株式会社

プロ野球試合を通じたエコ活動
バファローズが「エコ・デー」を開催
～ 来場者参加型のカーボン・オフセットを実施～

オリックス野球クラブ株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：松岡 良伯）は、京セラドーム大阪で開催する2009年4月21日～23日（埼玉西武ライオンズ戦）および7月14日～16日（千葉ロッテマリーンズ戦）の6試合で「エコ・デー」を開催し、来場者参加型のカーボン・オフセット^(*)を実施します。

昨年10月、オリックス野球クラブは「パシフィック・リーグ クライマックスシリーズ 第1ステージ」において、オリックス環境株式会社（本社：東京都港区、社長：小原 真一）との連携により、試合時に使用する電力から排出されるCO₂のすべてを相殺するカーボン・オフセットを実施しました。（ご参照：<http://www.orix.co.jp/eco/news/pdf/2008/1010.pdf>）

今回の「エコ・デー」では、球場入場料の一部を活用して、オリックス野球クラブがオリックス環境を通じて、試合時に使用した電力から排出されるCO₂のすべてを相殺する来場者参加型のカーボン・オフセットを実施します。実施した内容については、「エコ・デー」終了後、速やかに電力使用量に基づきCO₂排出量に相当する排出枠をJVETS^(**)で用いるシステム登録簿で無効化し、オリックス野球クラブのホームページで公表します。

今後も、オリックス野球クラブはスポーツを通じて環境問題をはじめ、社会貢献などにも積極的に取り組んでいきます。

また、オリックス環境は、カーボン・オフセットプロバイダーとしての実績を生かし、社会のローカーボン化に貢献していきます。

(*)カーボン・オフセットとは、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量については、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせすることをいう。

(**)自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)とは、温室効果ガスの排出削減に自主的・積極的に取り組もうとする事業者に対し、一定量の排出削減約束と引き換えに、省エネルギー等によるCO₂排出抑制設備の整備に対する補助金を交付することにより排出削減を支援するとともに、排出削減約束達成のために排出枠の取引という柔軟性措置の活用も可能にするという制度。（ご参照：<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/det/index.html#c2-1>）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
オリックス環境株式会社 EMS 推進部 広報担当：加藤
TEL：03-5419-5706

【ご参考】取組概要

来場者参加型カーボン・オフセット：

球場入場料の一部を活用して、オリックス野球クラブがオリックス環境を通じてカーボン・オフセットを実施

カーボン・オフセットの範囲：

「エコ・デー」(開催球場：京セラドーム大阪)において、試合時に使用した電力から排出される CO₂

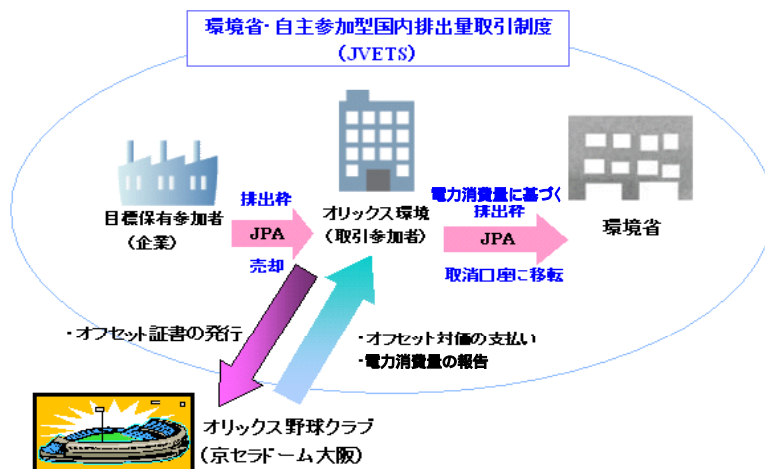
対象時期：

2009年4月21日～23日および7月14日～16日の6日間

算定方法：

試合時間中の電力使用量に、地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度で使用されている電力単位当たりの CO₂ 排出係数を乗じて、排出量を算出

取組図：



オフセットの実施：

「エコ・デー」終了後、速やかに、電力使用量に基づき CO₂ 排出量に相当する排出枠を JVETS で用いるシステム登録簿で無効化

証書の発行：

オリックス野球クラブのホームページを通じて、カーボン・オフセットが完了したことを証明するオフセット証書を発行